

# 2018年3月期 第2四半期決算説明会



2017年11月

**株式会社DNAチップ研究所**

DNA Chip Research Inc.

<http://www.dna-chip.co.jp>

## I. 第2四半期累計決算概要及び

### 2018年3月期計画

1. 決算サマリー
2. セグメント区分別売上高実推
3. 損益推移
4. 業績予想修正について

## II. 2018年3月期業績改善施策

1. 「業績改善」推進プラン
2. コーポレートガバナンスの体制変更

## III. 今後の研究開発について

1. DNAチップ研究所の特徴
2. RNAチェックとは？
3. DNAチップ研究所の開発領域
4. EGFR-NGS チェック
5. C3チェックサービス
6. リウマチチェック3～多剤効果予測～
7. 免疫年齢
8. 各診断メニューのスケジュール
9. 特許・論文発表状況



# Ⅰ．第2四半期累計決算概要及び 2018年3月期計画

# I-1. 決算サマリー

	前第2 四半期累計	当第2四半期累計			対前年 同期比
		(予想値) <sup>(注)</sup>	(実推)	比	
売上高 (百万円)	48.2	—	96.7	—	201%
営業利益 (百万円)	△140.8	—	△111.1	—	—
経常利益 (百万円)	△139.7	—	△110.9	—	—
当期純利益 (百万円)	△140.4	—	△111.4	—	—
研究費 (百万円)	23.6	—	24.8	—	105%
総資産 (百万円)	604.5	—	378.5	—	63%
純資産 (百万円)	489.9	—	307.0	—	63%
発行済株式の総数 (株)	4,237,651	—	4,237,606	—	—
1株あたり純資産額 (円)	115.60	—	72.45	—	71%
1株あたり当期純利益 (円)	△33.14	—	△26.28	—	—
営業利益率 (%)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	70.6	—	65.1	—	86%

(注1) 2018年3月期において、第2四半期累計期間の業績予想値は公表していない。

## I-2. セグメント区分別売上高実推

(金額単位:百万円)

項 目	前第2四半期累計		当第2四半期累計		前年比(%)	
	金 額	比 率	金 額	比 率		
研究受託	研究受託	0.0	—	20.5	21%	—
	受託解析	41.2	85%	66.0	69%	160%
	商品販売	2.5	5%	1.8	2%	72%
研究受託事業計		43.7	91%	88.3	92%	202%
診 断	国内検査	2.1	4%	5.2	5%	248%
	国内商品販売	1.5	3%	2.1	3%	140%
	海外	0.9	2%	0.1	0%	11%
診 断 事 業 計		4.5	9%	7.4	8%	164%
売 上 高 合 計		48.2	100%	95.7	100%	199%

売上高は前年比199%の 95.7百万円で終了した。

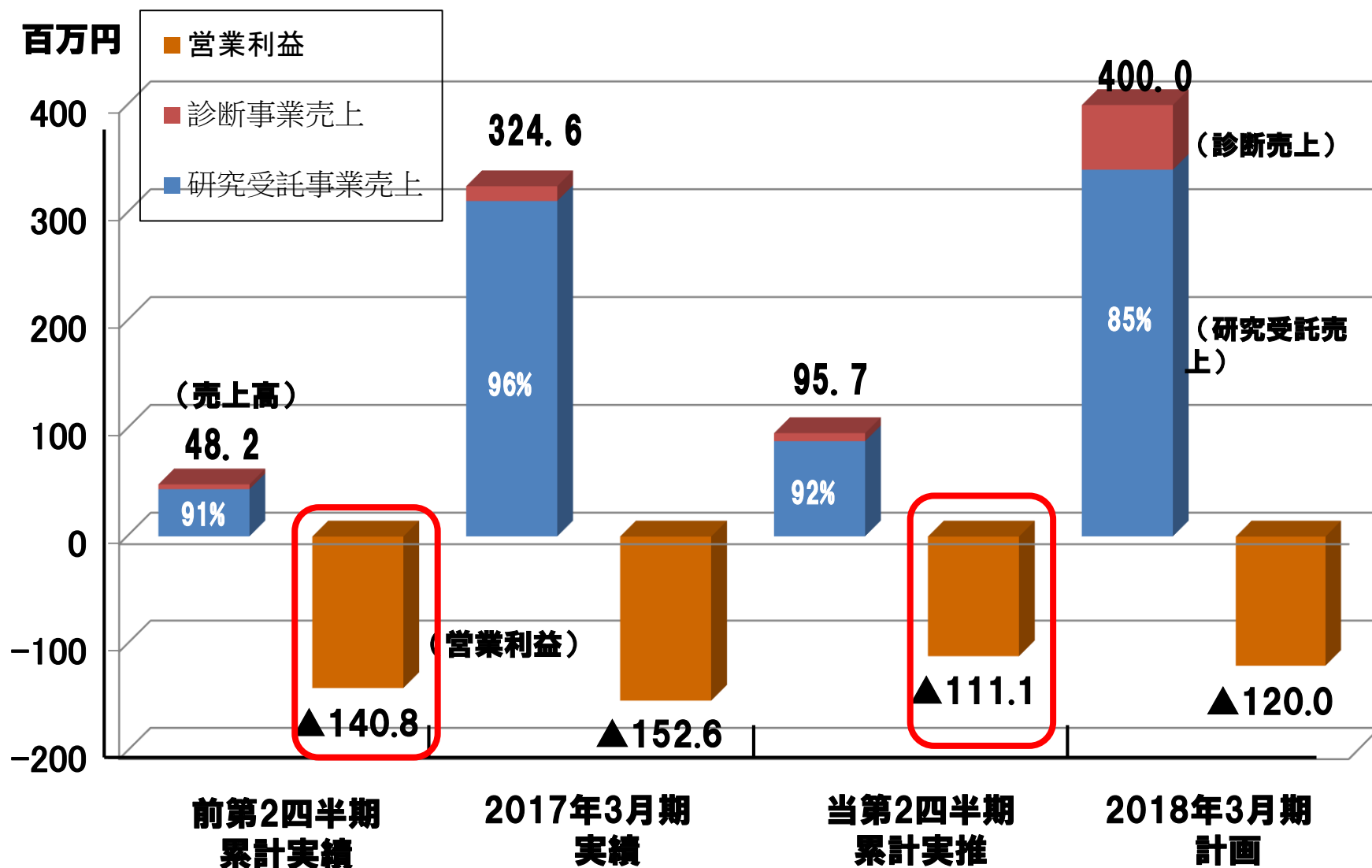
### 【研究受託事業】

キャンペーン施策などによるマーケットシェア増により、売上高前年比202%の実績

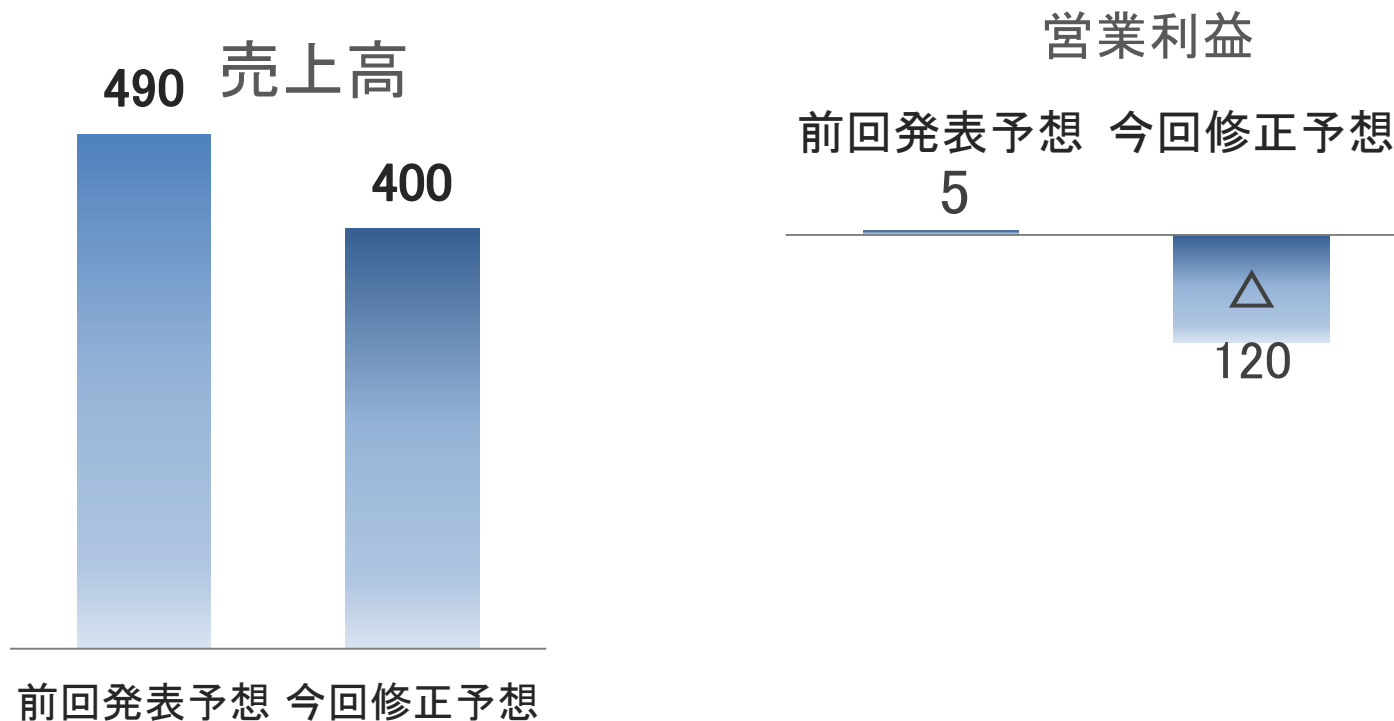
### 【診断事業】

売上上昇したものの、まだ1事業といえる規模の金額ではない。

# I-3 業績推移



## I-4 業績予想修正について



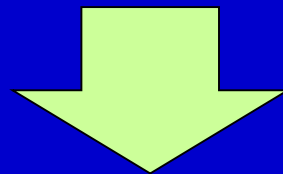
- 基本的な考え方として、黒字化、その後の成長のためには、肺がんの遺伝子診断など、診断事業を本格的に立ち上げが不可避
- この考え方に基づき、研究受託事業から、診断事業およびその開発に体制を大きくシフト。目の前の売上上昇より、新事業の立ち上げに経営資源を集中。
- 診断事業の立ち上げを前倒しすべく、EGFR薬事申請や、新たなリキッド・バイオプシー技術の開発に積極的に投資する結果、損益が大きくマイナス。
- 診断事業の大型案件の売上計上が来期にずれこむ可能性。

## Ⅱ. 2018年3月期業績改善施策



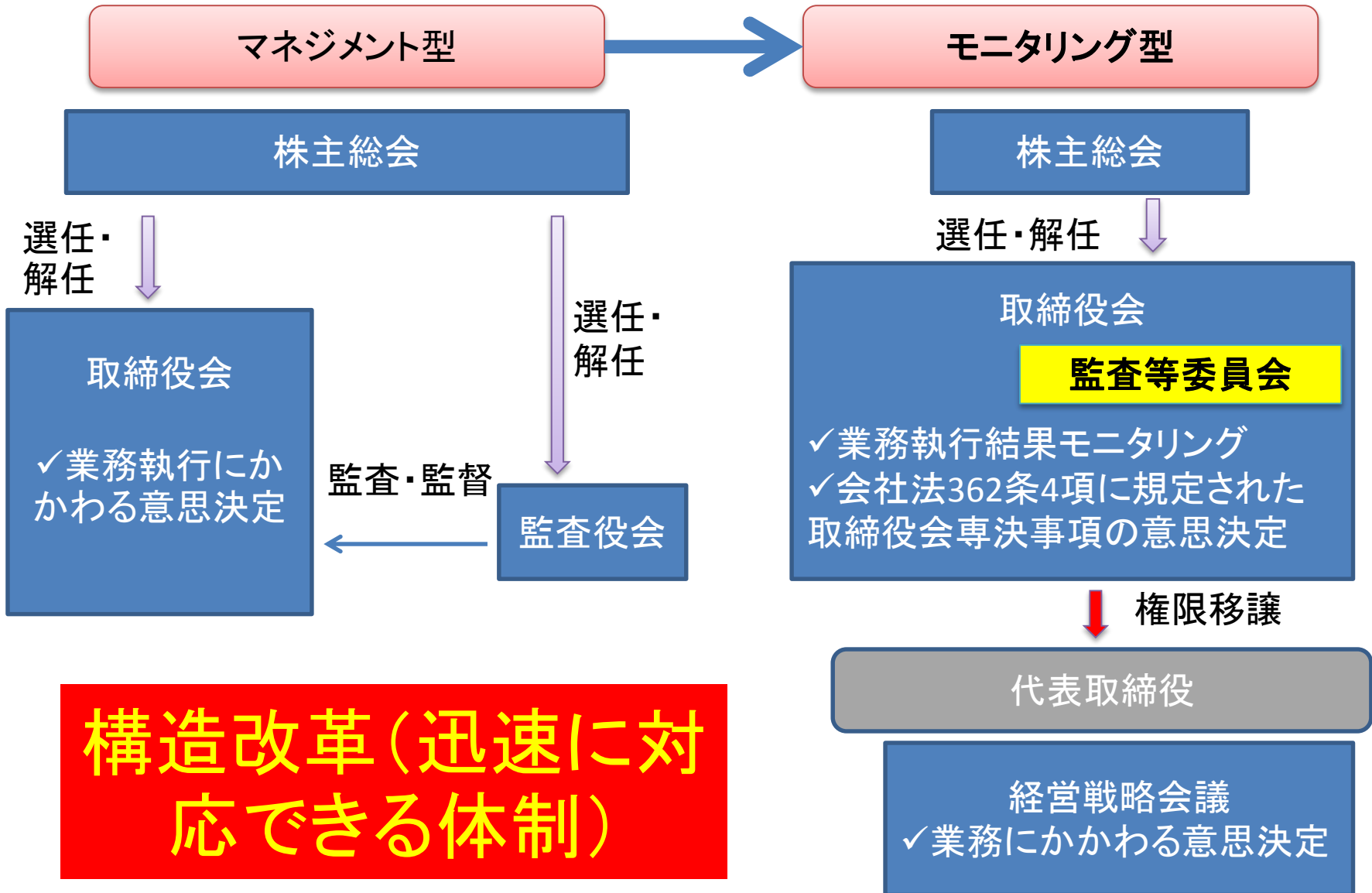
### ～開発力強化と事業化加速～

- I. 構造改革(迅速に対応できる体制)
- II. 他社連携強化と新規メニュー開発
- III. 診断事業の選択と集中



オープンイノベーション・最新技術の事業化  
診断ツールによる予防医療の実現  
グローバル展開

## Ⅱ-2. コーポレートガバナンスの体制変更



# Ⅲ. 今後の研究開発について



株式会社DNAチップ研究所

診断

受託

製品

研究開発

会社案内

お問い合わせ

ライフサイエンス分野の診断ツール開発を通じ、  
誰もが健やかに暮らせるための予防医療に貢献します



診断

リウマチチェック3、MammaPrint、  
免疫年齢、EGFR-NGSチェック、  
消化器がん検査



受託サービス

マイクロアレイ、次世代シーケン  
ス、リアルタイムPCR、デジタル  
PCR、C3チェックサービス



取扱製品

ハイブリ先生、iRIS、Tbone EX Kit



研究開発

DNAチップ研究所の研究内容はこ  
ちら

## Ⅲ-1. DNAチップ研究所の特徴



- ◆ 核酸(ゲノムDNA, RNA)の測定技術・生物学的な測定意義について豊富な知識と経験をもつ
- ◆ 臨床医師との豊富な共同研究実績がある
- ◆ 自社における独自の研究開発を行う

核酸(ゲノムDNA, RNA)を中心とするバイオマーカー研究  
特に、RNA チェック



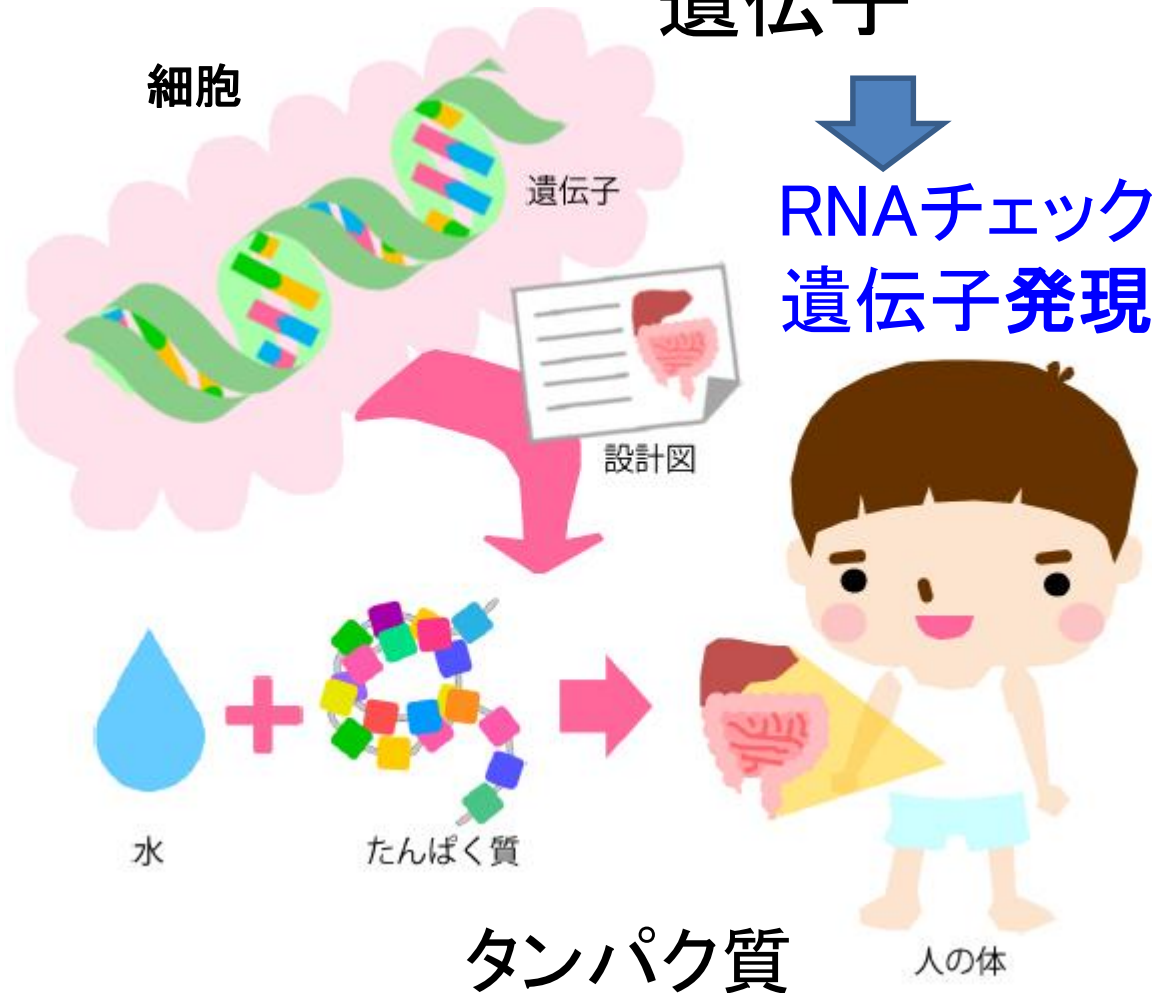
創造的革新で健康長寿社会へ貢献

病気の診断や薬剤の効果予測  
未病社会のための健康モニタリングサービスを提供

## Ⅲ-2. RNAチェックとは？

ゲノムDNA  
遺伝子

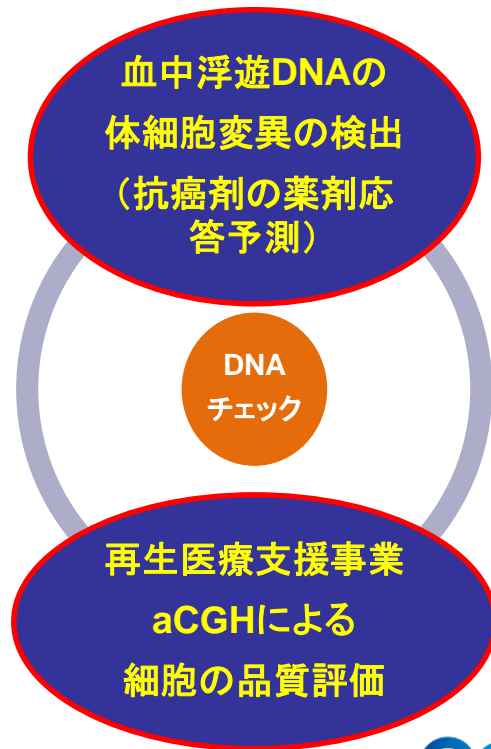
一生涯  
変わらない



身体の状態に  
よって  
変化する

# Ⅲ-3. DNAチップ研究所の開発領域

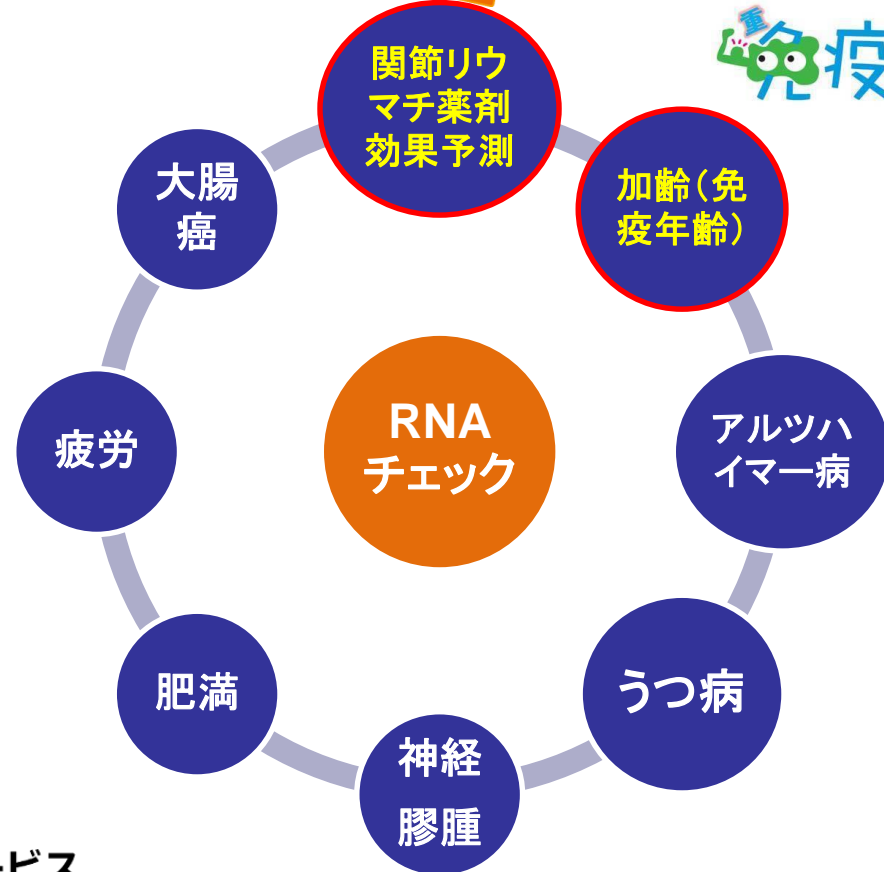
EGFR-NGS Check



C3  
C3 チェックサービス  
aCGH for Cultured Cells Check Service

リウマチチェック<sup>3</sup>

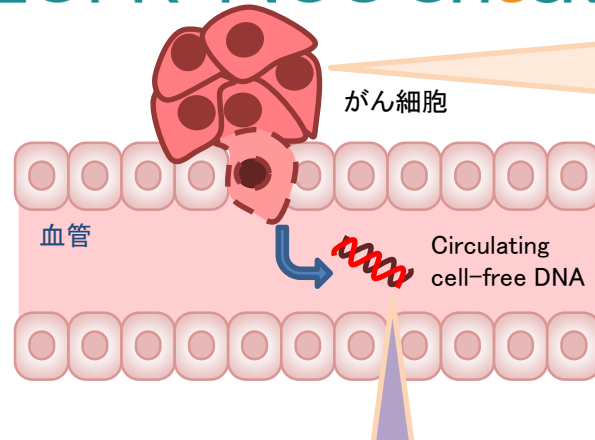
免疫年齢



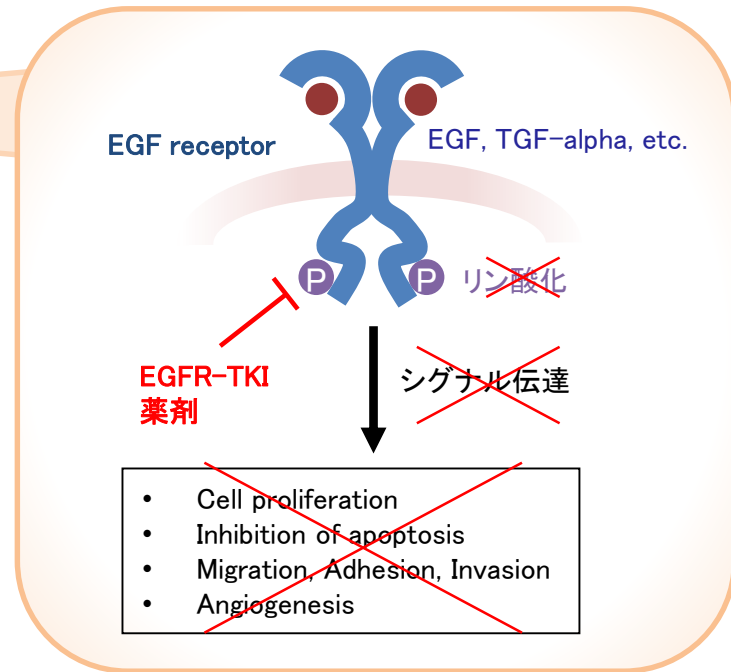
# Ⅲ-4. EGFR-NGS チェック

## 血中遊離DNAを用いた体細胞変異検出

### EGFR-NGS Check



癌細胞の中の遺伝子変異の有無を、血中のcell-free DNAを次世代シーケンサーで解析することにより検出する  
 → 侵襲的なバイオプシの必要がない



#### 本サービスの特長

血液を用いた検査:

低侵襲的なEGFR-TKI薬剤選択および病態モニタリングが可能となります。

超並列半導体シーケンサーを用いた検査:

多量のDNA配列を決定することで高感度の検査を実現します。

※本サービスは、大阪国際がんセンターとの共同研究の成果に基づいています。



# Ⅲ-5. C3チェックサービス

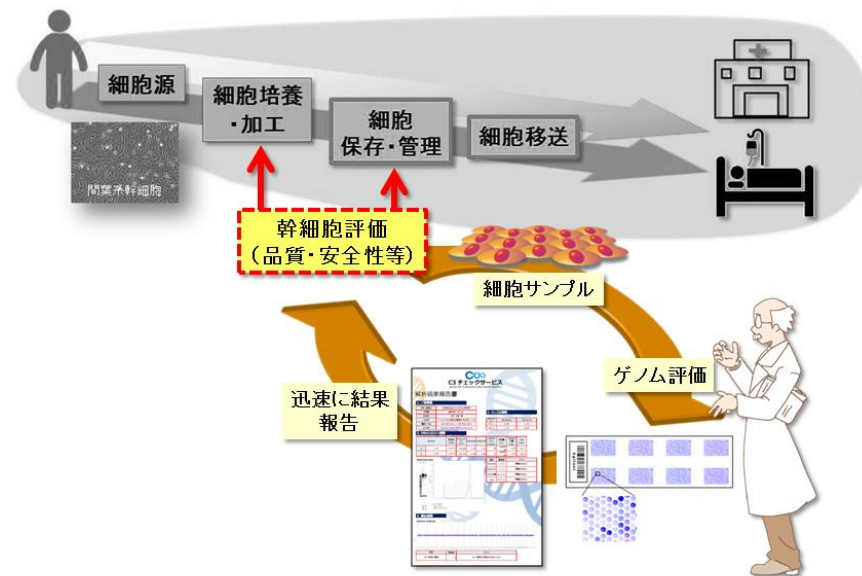
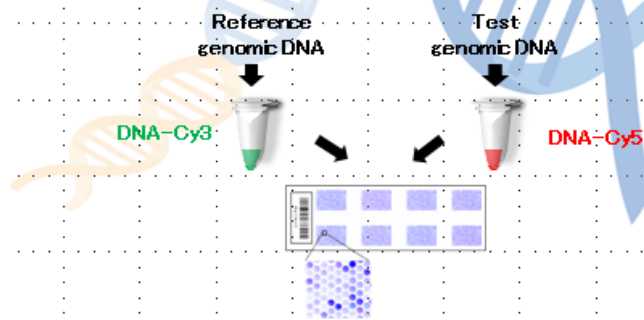
## -aCGH for Cultured Cells Check Service-

### ～間葉系幹細胞のアレイCGHによる品質評価～



**C3**  
C3 チェックサービス  
aCGH for Cultured Cells Check Service

- ❑ カスタムアレイCGH解析による培養細胞の品質評価サービスです。
- ❑ 培養工程（継代）におけるゲノムコピー数異常を高精度に検出します。
- ❑ 癌関連遺伝子領域の検出プローブ数を高密度に搭載しています。
- ❑ 再現性のあるデータ解析を行うため、Dye-Swap（色素入れ替え実験）検証を推奨します。



国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)  
「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術事業  
(再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発)」採択  
2015年12月～2017年3月  
「自己軟骨細胞シートのための統合的評価手法の開発」  
2017年8月～  
「同種軟骨細胞シートのための有効性品質評価手法の開発」  
(東海大学、株式会社セルシード)



## Ⅲ-6. リウマチチェック<sup>3</sup>～多剤効果予測～

# リウマチチェック 3 サービス の特徴

### 本サービスの概要

血液の遺伝子発現情報を用いて、インフリキシマブ、トシリズマブ、アバタセプトの3剤の投与半年後の効果を予測します

### 対象患者

以下の条件を満たす関節リウマチ患者

- メトトレキサート (MTX) 治療により効果が認められなかった方
- 過去に生物学的製剤による治療を受けられたことがない方

### 本サービスの特徴

- 病態を“分子的”に捉えて、“客観的”に薬剤効果を予測
- 作用機序の異なる“3つ”の薬剤に対する効果を“一度”に予測

※本サービスは、慶應義塾大学医学部内科学教室リウマチ内科、および 埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科との共同研究の成果に基づいています。

## Ⅲ-7. 免疫年齢

血液遺伝子発現による生体年齢評価サービス

# 免疫年齢

免疫年齢とは・・・「遺伝子にもとづく“からだ年齢”」です。

### 検査内容

1

◆末梢血からの遺伝子発現プロファイルにより、生体年齢を予測するサービスです

2

◆必要な検査は1回の採血だけです。

3

◆約2週間で検査結果をお返します。

### 活用例)

食品のアンチエイジング評価、健康状態の評価

加齢

免疫機能の  
低下

老けてる？



血液中には、  
年齢とともに働きが  
変化する遺伝子が  
あります



遺伝子の働き具  
合から、“からだ年  
齢”を予測できます

検査結果

あなたの免疫年齢は・・・

**40 歳**

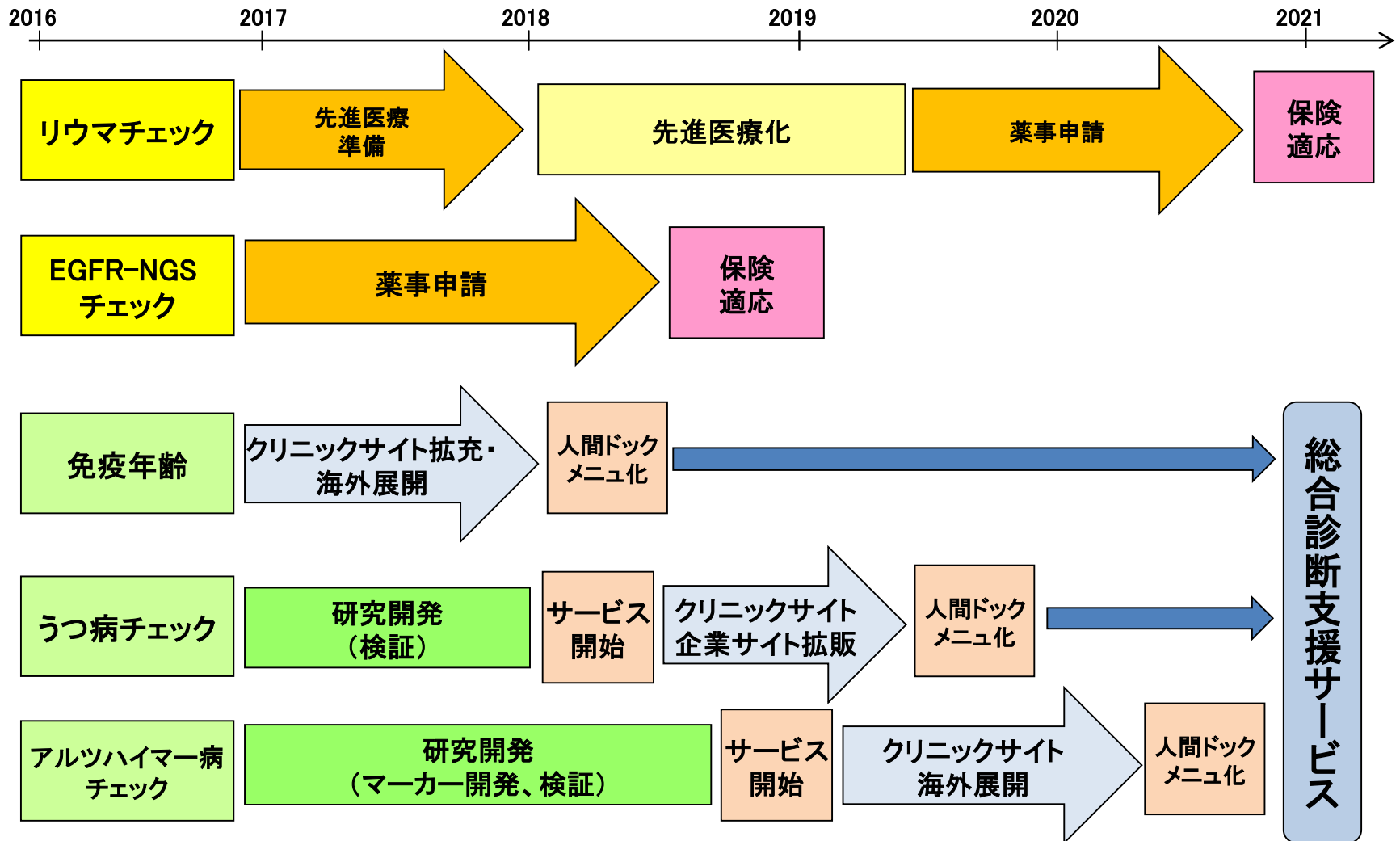
(40代ランキング：11位 / 37名中)

Sample

です。

【免疫年齢判定結果】【詳細遺伝子レポート】など  
をお返します。

# Ⅲ-8. 各診断メニューのスケジュール



## Ⅲ-9. 特許・論文発表状況

---

### 平成29年度上半期 特許取得

#### i. 核酸分子数計測法

地方独立行政法人大阪府立病院機構と共同で出願  
2017年4月に登録

### 平成29年度上半期 特許申請

#### i. 気分障害を検出する方法

国立精神・神経医療研究センターと共同申請

#### ii. 大腸癌の異時性転移の有無を予測する方法およびそれに用いるキット

北海道公立大学法人札幌医科大学と共同申請

# 株式会社DNAチップ研究所 会社概要

【会社名】	株式会社DNAチップ研究所 DNA Chip Research Inc.
【住所】	東京都港区海岸一丁目15-1 (浜松町駅・竹芝駅)
【設立】	1999年4月1日
【代表者】	代表取締役社長 的場 亮
【設立者】	松原 謙一(大阪大学名誉教授)
【従業員数】	27名(全人員数35名、内Ph.D. 9名(M.D.2名)) (2017年3月現在)
【資本金】	140,002万円(2016年3月末日現在)
【発行済株式数】	4,237,700株(2016年3月末日現在) 東京証券取引所第二部



Ryo Matoba, Ph.D.  
President and CEO



Kenichi Matsubara, Ph.D.  
Founder

# 沿革

1999年4月	株式会社デイエヌエイチップ研究所を横浜市保土ヶ谷区に設立
1999年8月	国産第1号商品「Yeast Chip ver. 1.0」を販売
2001年12月	横浜市鶴見区(「サイエンスフロンティア」地区)に本社移転
2002年11月	商号を「株式会社DNAチップ研究所」に変更
2004年3月	東京証券取引所マザーズ市場株式上場(資本金6億1,650万円に増資)
2006年5月	東レ株式会社と共同開発「3D-Gene」(酵母全遺伝子型チップ)を販売開始
2006年11月	米国Agilent Technologies Inc.とDNAマイクロアレイ事業で戦略的提携
2007年5月	「ConPath Chip」及び「ConPath Navigator」を開発し、新たな受託解析事業を開始
2007年8月	学校教育向け遺伝子解析教材「ハイブリ先生」を販売開始
2008年3月	RNAチェックによるリウマチ抗体医薬の薬効診断臨床実験を開始
2008年3月	「Mamma Print」による乳癌予後予測検査サービス事業開始
2009年4月	プライバシーマーク付与認定
2011年3月	臨床研究遺伝子発現データサービス「iCIS-crdb」の製品発表、販売開始
2011年4月	臨床現場向け関節リウマチ問診システム「iRIS」の製品発表、販売開始
2011年12月	「TBONE EX KIT」硬組織(歯牙・骨)用DNA抽出キットの製品発表、販売開始
2013年10月	米国Agilent Technologies Inc.と次世代シーケンス解析事業で戦略的提携
2014年8月	株式上場市場を東京証券取引所第2部へ変更
2014年11月	株式会社エンプラスと資本業務提携を締結(資本金を14億2万円に増資)
2015年11月	東京都港区海岸に新ラボ・オフィスを開所



ライフサイエンス分野の診断ツール開発を通じ、  
誰もが健やかに暮らせるための予防医療に貢献します

ご清聴ありがとうございました



### 診断

リウマチチェック3、MammaPrint、  
免疫年齢、EGFR-NGSチェック、  
消化器がん検査



### 受託サービス

マイクロアレイ、次世代シーケン  
ス、リアルタイムPCR、デジタル  
PCR、C3チェックサービス



### 取扱製品

ハイブリ先生、iRIS、Tbone EX Kit



### 研究開発

DNAチップ研究所の研究内容はこ  
ちら